

研究レポート No.736 岩手県農業研究センター

殻の色が濃くて粒が大きいキビ新品種「キビ岩手糯（もち）1号」

【1 特徴】

- (1) 「キビ岩手糯1号」の殻（穎：えい）の色は、従来のもちキビ「釜石16」より濃い黒～黒褐色で、脱ぶ粒や精白粒との識別が容易です。
- (2) 粒は「釜石16」より大きく、丈は短く、「一戸在来（月館）」や「釜石16」よりも多収です。
- (3) 「当麻きび」と「一戸在来（月館）」との人工交配で作られた新品種です。

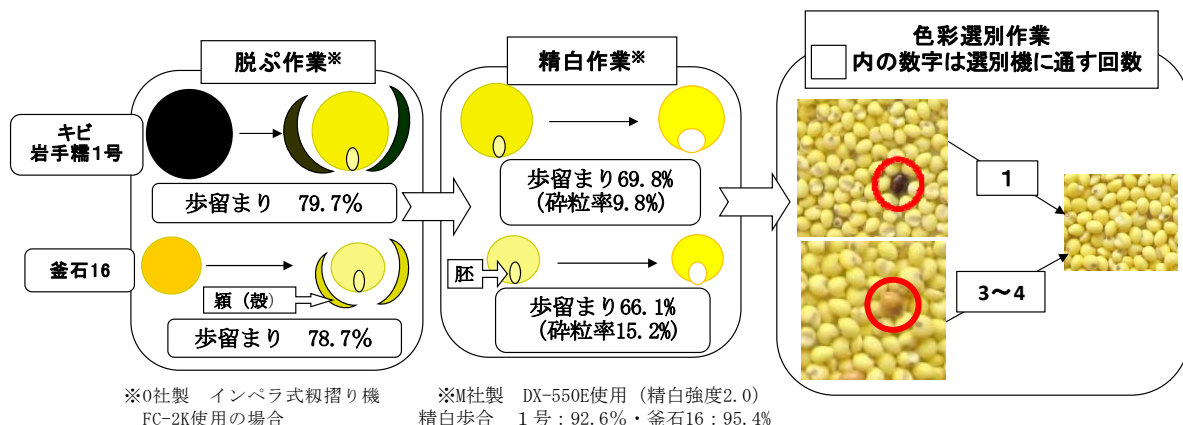
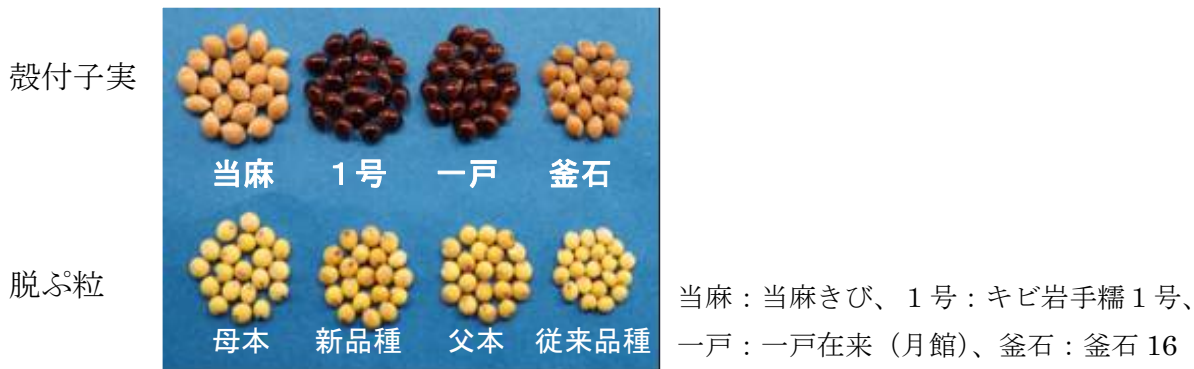


図1. キビ新品種と「釜石16」との加工調製効率の比較

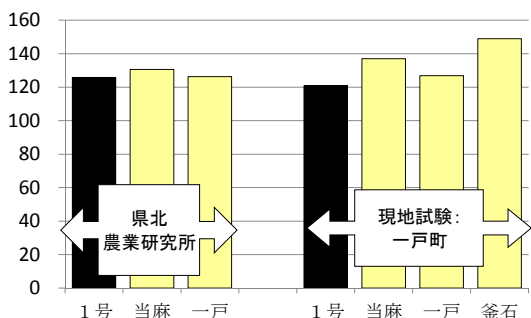


図2. キビ新品種の稈長 (丈の長さ:単位 cm)

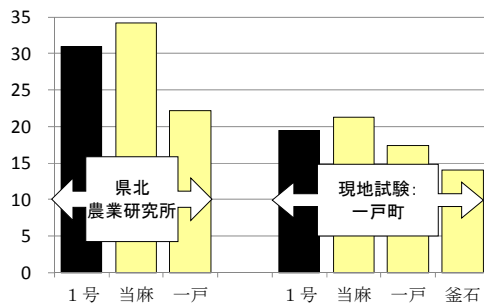


図3. キビ新品種の収量 (単位：kg/a)

【2 期待する活用効果】

- (1) 加工調製作業の効率化を期待しています。

【3 留意点】

- (1) 本品種は「もちキビ」ですので、うるちキビの混入やうるち化（キセニア）を防ぐため、うるちキビの近くで栽培しないでください。

担当研究室 県北農業研究所 作物研究室

〒028-6222 九戸郡軽米町山内 23-9-1

TEL. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011